

## 英語科 学習指導案

1 対象・日時 1年C組 令和3年2月19日(金) 1校時

2 本単元で育成したい資質・能力（評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①疑問詞の意味や働きを理解している。 ②出かける計画について、お互いの行きたい場所ややりたいことを整理し、疑問詞を含む文などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	①合意形成を図るために意見や希望を出し合い、旅行の計画について、行く場所やそこであることを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	①合意形成を図るために意見や希望を出し合い、旅行の計画について、行く場所やそこであることを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

### 3 単元「意見を出し合って、旅行の計画を話し合おう」について

本単元では、話す順序や言葉の選択を工夫しながら、意見を出し合って詳細を決定できるようにする。本単元までに、帯活動として、遊園地に遊びに行く計画を立てるなどの身近な課題を設定し、待ち合わせ場所や時間、そこですること、食べるものなど計画の詳細を決定するために必要な項目について、既習事項である疑問詞を適切に用いて話し合う活動を行っている。その際、必要な表現を確認し、繰り返し使いながら話し合う活動を重ねることで、次の活動につなげられるように工夫している。

また、単元のはじめに教科書の内容を用いて知りたい情報の尋ね方や話す順番について考えることで、話す内容をまとめ、コミュニケーションの見通しを立てる必要性を確認する。旅行計画を話し合う活動では、提示されているコースの中から希望に合うものを選択したり、自由時間の行動を話し合ったりしながら、旅行計画の詳細を決定する。その際、一方の意見だけを通すのではなく、互いの希望を伝え合った上で決定していくことを意識するように指導する。複数回やり取りした後に、班及び学級全体で課題や気づきを共有する。ALTとJTEによるモデルも参考にして、話す内容や順序、対話の継続を図る表現を考えた後に、もう一度ペアを変えて実践する機会を設ける。相手の話をよく聞いて反応を返し、自分の意見を伝え、流れを大切にしながら伝え合える力を育てたい。

### 4 生徒の学びの履歴

7～12月に行った帯活動では、一問一答練習と与えられたトピックについての1分間チャットを扱ってきた。その中では、新しい表現を積極的に使おうとしたり、質問に答える時は一文付け足そうとしたりなど、前向きに英語でコミュニケーションをとろうとする姿が見られた。10月頃には目的や場面、状況を理解し、相手の希望をよく聞いて、休日の計画について即興で話し合う活動を行った。この単元の目標は、相手の情報を聞き出したり、具体的な場所や時間を提案したりして、相手の希望を聞きながらそれに合わせた計画を立てることであった。即興で話すことを難しいと感じる生徒も多くいたが、活動を繰り返していくうちにジェスチャーを活用したり、知っている表現を組み合わせて相手に伝わりやすくしたりなど工夫しながら取り組み、計画を立てることができた。しかし、テンポよく即興で会話することを優先したため、本当は言いたいことがあるが「OK」と飲み込んでしまうなど、希望や意見を出し合ってしっかり話し合うという点では課題が残った。本単元では、身近で現実的な課題に取り組みながら、互いの意見を伝え合い、問題を解決していく力の育成を図りたい。

5 資質・能力育成のプロセス（7時間扱い）

次	時	評価規準 (丸番号は、2の評価規準の番号)	【 】内は評価方法及び Cと判断する状況への手立て
1	1   2	<p>知① 疑問詞の意味や働きを理解している。 (○)</p> <p>知② 尋ねたいことを整理して、疑問詞を含む文などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 (○)</p>	<p>【発言の点検】 C：過去のワークシートや教科書を用いて、これまでに学習した疑問詞を用いた疑問文の構造や使い方を確認させる。</p> <p>【発言の点検】 C：インタビュー後の確認の時間に、よく分からなかった語や表現をメモさせる。</p>
2	3   6	<p>知② 文脈に即して正しく疑問詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。(○○)</p> <p>思① 合意形成を図るために意見や希望を出し合い、旅行の計画について、行く場所やそこであることを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(○○)</p> <p>態① 合意形成を図るために意見や希望を出し合い、旅行の計画について、行く場所やそこであることを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(○○)</p>	<p>【発言の点検・分析】 C：教科書や前時のワークシートを見ながら、疑問詞の意味や働きを確認するように促す。</p> <p>【発言の点検・分析】 C：前時のワークシートで、情報の尋ね方や答え方を見直させる。</p> <p>【発言の確認】 【ワークシートの分析】 C：気付いたことや役立つ表現はワークシートに書き足していくようにさせ、その記述を振り返りながら、やり取りするように伝える。</p>
3	7	<p>態① 意見や希望を出し合って話し合うために、大切なことを自分の言葉でまとめようとしている。(○)</p>	<p>【ワークシートの記述の点検】 C：これまでの学習についてワークシートを基に振り返り、重要だと感じるキーワードをピックアップして書かせる。</p>

主たる学習活動	指導上の留意点	時
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書Unit 11のインタビューの目的を確認し、自分がインタビューするとしたら、どのようなことを尋ねるか考える。</li> <li>「ティナに尋ねたいことリスト」を提示し、必要な質問や尋ねる順番について班で考える。</li> <li>ティナへのインタビューを実践する。</li> <li>知りたい情報の尋ね方を考える中で、疑問詞について確認する。</li> <li>教科書の内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書は開かせず、これまでに学習してきた内容を振り返りながら、質問を考えるように促す。</li> <li>班の中で一人ティナ役を選び、ティナ役の生徒は役になりきって、他の班のインタビューに参加するように伝える。</li> <li>質問する際には、幅広い答えを引き出す質問から、詳細を明確にする質問となるように尋ねると、スムーズに話が進むことを確認する。</li> <li>疑問詞の使われ方に注目させる。</li> </ul>	1   2
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【課題】 春休みに友達と1泊2日で旅行に行くことを決めました。旅行の計画を話し合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートで、旅行コースとオプションの内容を確認する。</li> <li>自分の希望を整理し、相手に伝えやすくするために、一人で旅行中にしたいことを考え、メモを作成する。</li> <li>メモを基にしながら、ペアで旅行についてやり取りする。</li> <li>振り返りの際に活用できるように、TPCでやり取りを録音する。</li> <li>一回目のやり取りの後、意見を出し合った上で合意形成が図れているかを振り返り、気付いたことや考えたことをワークシートに記入する。</li> <li>振り返ったことを意識して、別のペアで同じ課題についてやり取りする。</li> <li>ALTとJTEによる、よいモデルの動画を見る。</li> <li>振り返りで書いたことやモデルを参考に、話を深める表現方法や話し方、話し合う順番について気付いたことを学級全体で共有する。</li> <li>やり取りをよりよくするために、OneNoteに役立つ表現を入力し、確認する。</li> <li>ペアを変えて、課題についてやり取りする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行コースと自由時間にできる活動のオプションを複数提示する。</li> <li>選択肢の中から希望に合うものを選ぶことで、活動に取り組みやすくする。</li> <li>準備した文を読むだけの活動とならないように、メモはキーワードのみを書かせる。</li> <li>意見を出し合った上で、プランの決定まで行うことを強調する。</li> <li>ペアで録音した音声を聞き直しながら、振り返らせる。</li> <li>やり取りで使用した表現をOneNoteのページに入力させ、テキストマイニングを活用して、視覚的に示し、各表現の使用場面を確認する。</li> <li>会話は録音し、Teamsで提出させる。</li> </ul>	3   6
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通して学んだことをワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見や希望を出し合って話し合うという目標を踏まえて、これまでの活動を振り返り、できるようになったことや身に付けた表現、これからさらにできるようになりたいことを書かせる。</li> </ul>	7

## 6 学びの実現に向けた授業デザイン

### 【「学びに向かう力」が高まっている生徒の姿】

合意形成を図るために、相手の意見を受け止めようとしたり、自分の希望を伝えようとしたりしている姿。

### 【「学びに向かう力」を高めていくための指導と評価の工夫】

#### ○観点別学習状況のあり方

##### 1. 「知識・技能」の指導と評価

本単元の学習活動は、本単元前から継続して行ってきた帯活動での取組と強くつながっている。そのため、疑問詞を含む文を用いて、相手に尋ねたり応答したりする技能については帯活動と関連付けて見取る。また、本単元の第1次では、教科書Unit 11のインタビュー内容を参考に、個人でインタビューを想定して質問を書き出させたり、「ティナに尋ねたいことリスト」を提示し、班で尋ね方やその順番を考えさせたりすることで、疑問詞を用いた質問の構造や効果的な使い方について考えられるようにする。最終的には、次の「思考・判断・表現」の評価を行うものと同じ音声を聞き、言語使用の正確さについて見取り、記録に残す評価とする。

##### 2. 「思考・判断・表現」の指導と評価

学習課題「旅行の計画を話し合おう」では、提示された旅行コースやオプションから希望に合うものを選び、自分の意見を伝えるとともに、相手の意見を聞き、それに合わせた応答をしながら旅行プランの詳細を決定させる。その際、コースやオプションといった選択肢を提示し、その中から決定するという形とすることで、話し合いやすくした。ペアを変えながらやり取りを繰り返し、そこで気付いたことを学級全体で共有する場をもつ。また、使用した表現や役立った表現をOneNoteのページに入力させ、テキストマイニングを活用して視覚的に示す。他の人が使っている表現やよく使われている語を共有し、役に立つ表現や話す順序を考える機会とする。合意形成を図るという目的を意識したやり取りができるように、尋ね方だけでなく、尋ねた理由にも注目させる。その上でALTとJTEによるモデルを提示し、話を深める表現や話し方などを見直させる。その後、もう一度ペアを変えてやり取りを行わせ、録音した音声をTeamsで提出させる。互いの考えを伝え合って旅行プランの詳細が決定されているか、音声を聞いて評価する。

##### 3. 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価

過去の単元や帯活動でのやり取りを振り返る機会を何度も設定し、過去に学んできたことを今回の学習課題で活用できるようにする。また、同じ課題を複数回実践し、録音した音声を活用してやり取りを振り返る機会、学級全体で言語の働きについての気付きを共有する機会をもつ。気付いたことや考えたことを実際に使う場面を設けるようにし、実践と振り返りを繰り返すことで、前向きにやってみようとする生徒を育てる。

気付いたことや考えたこと、役立つ表現は一枚のワークシートに書き足していくようにし、自分自身の変容を見取りやすくする。自分の考えをより伝わりやすく表現する方法を選択したり、相手と意見をすり合わせてよりよいやり取りに発展させたりできるようにする。評価については、目標を達成するために、自らの学習を捉え、改善を図ろうとしている姿を、ワークシートの記述から見取る。それと合わせて、振り返りで記述している内容が、提出された音源におけるパフォーマンスの様子に表れているかも確かめるようにする。

#### ○「考えるための技法」を用いた言語活動の充実

やり取りを振り返る場面で使用した表現を集め、それらを**関連付けたり比較したり**して、よりよく合意形成を図れるようにする。

#### 【本単元での指導事項】 ※（既習）は既習事項

- ・ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。（話すこと[やり取り]イ）

#### 【本単元における、総合的な学習の時間（TOFY）とのつながり】

- ・ 本単元で身に付けた力はTOFYでインタビューを行う際に、相手の意見を受け止め、それに合わせた受け答えをしたり、さらに話を深めたりすることにつながる。